

京都の土地改良



第22回水・土・里ふるさと写真コンクール入賞作品 「菖蒲田植え」 三宅憲二

就任のごあいさつ

- 京都府農林水産部長 荻 安彦 2
- 京都府農林水産部理事（農村振興課長事務取扱） 小塩 佳市 3

主な活動報告

- 京都府土地改良事業団体連合会第69回通常総会、新役員の紹介 4
- 全国土地改良事業団体連合会第68回通常総会及び全国水土里ネット表彰式 6
- 京都府農業農村整備事業推進大会 7
- 農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動 9

農政情報

- 災害への「備え」として 10

事業紹介等

- 各課の取組【総務支援課 業務課 ため池サポート課】 11
- 地域別会議、支部事務担当者会議 15

その他の活動等

- 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組 16
- 多様な人材の登用と男女共同参画 17
- 水土里レポーターの活動について 18
- 第23回水・土・里ふるさと写真コンクール入賞作品 19

会員紹介

- 土地改良区等紹介【網野町字俵野土地改良区】 20

事務局だより

- 令和8年度京都府土地改良事業団体連合会組織機構図 21
- 第48回全国土地改良大会 奈良大会 22
- 叙勲受章者の紹介 22
- 新規採用職員の紹介、今後の行事予定、非補助農業基盤整備資金 23

就任のごあいさつ

京都府農林水産部長 萩 安彦



このたび、5月1日付けの定期人事異動により、農林水産部長を拝命しました。

京都府土地改良事業団体連合会並びに会員の皆様方には、日頃から京都府の農林水産行政、とりわけ農業農村整備事業の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。京都府の農業・農村の維持発展のため、精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

近年、府内の農林水産業は、担い手の高齢化に加え、猛暑や少雨など気候変動の影響が顕在化し、省力化と安定生産の両立が大きな課題となっています。国においても、令和8年度予算で、農業構造転換集中対策や気候変動への適応の取組を重視し、生産性向上と食料供給力の確保を進める方針が示されました。

京都府では、令和8年度の公共事業費を16か月予算として編成し、気候変動適応対策事業費2億592万5千円、農林水産業基盤整備事業費74億1,345万5千円を計上しております。気候変動適応対策事業の一環として、高温・渇水に備える農業水利施設における用水対策を進めるとともに、高温・渇水にも強い経営モデルの確立を目指す「稲作経営モデル確立支援事業費」を盛り込んでおり、気候変動に適応しながら稲作経営の持続性と収益性の向上に取り組んでまいります。

京都の農業が持つ強みは、歴史や食文化に支えられた高い技術と品質にあり、この“京都”という地域ブランドを活かした農業をさらに発展させるためには、暗渠排水や排水改良など、きめ細かな基盤整備によって営農条件を高めることが不可欠です。さらに、将来の労力不足を見据えれば、農地の大区画化や水田の汎用化を進め、省力化機械やスマート技術が活かせる基盤を整えることが重要です。

国においても、農業農村整備事業等により、こうした整備が重点化されていることから、京都府としましては、ほ場整備や農業水利施設の更新・長寿命化を通じて、生産性の向上と災害に強い農村づくりを両立させ、次代に繋がる農業基盤を築いてまいりたいと考えております。

今後とも、京都府土地改良事業団体連合会をはじめ、会員並びに関係者の皆様の一層の御理解と御協力をいただきながら、施策を効果的かつ着実に推進し、京都府の農業・農村が次の世代へしっかりと継承されるよう取り組んでまいり所存ですので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

就任のごあいさつ

京都府農林水産部 理事
(農村振興課長事務取扱)

小 塩 佳 市



5月1日付け定期人事異動により、農林水産部理事農村振興課長事務取扱を拝命しました。

昨年度まで、新規就農者の確保や地域営農の推進、農地集積など、主として担い手対策に関する業務に携わってまいりましたが、このたび農業・農村対策の分野に携わる機会をいただきましたことを、大変光栄に存じております。

今後は、府内各地の農業・農村を支える重要な施策を担う立場として、その責任の重さを改めて実感しているところでございます。微力ではございますが、京都府土地改良事業団体連合会及び会員の皆様方のご指導とお力添えをいただきながら職責を果たしてまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、農業農村の取り巻く環境は、人口減少や高齢化の進行により、農業の担い手不足は一層深刻さを増しており、地域農業を将来に渡って維持していくためには、担い手の確保・育成と合わせて、農地の集積・集約化や生産基盤の整備を一体的に進めていくことが重要となっています。

国においても、令和8年度予算では「地域計画の実現に向けた支援」を柱の一つに位置付け、目標地図に沿った農地の集約化、担い手の誘致・育成、機械・施設の導入等を総合的に支援する方向が示されております。京都府におきましても、地域計画の策定・実現を契機として、担い手への農地集積を図るため、ほ場整備や耕作条件の改善などを進め、将来に渡り営農が継続できる環境づくりをしっかりと支えていく必要があると考えております。

また、近年の気候変動の影響により、去年は、異常な高温、少雨により渇水による作物への影響があったところです。農業水利施設の機能強化や農業用ため池の保全・整備を進めることは、平時の安定した用水確保のみならず、渇水・高温時のリスク軽減にも大きく寄与するものです。国においては、防災・減災、国土強靱化のための各種予算措置を通じ、水利施設の整備や渇水対策の加速化が図れており、京都府としても、ため池を含む農業水利施設の管理強化と合わせ、水土里ビジョンの策定支援を通じて、地域と連携した体制づくりを進めてまいります。

農村地域においては、地域農業を支える地域コミュニティーの維持が大きな課題となっております。こうした状況を踏まえ、日本型直接支払制度の活用と併せて、地域の話し合いに基づく地域共同活動の再構築や農村型地域運営組織（農村RMO）の形成を支援するとともに、専門家と連携し地域特性に沿った営農戦略の策定と実践支援をはじめ、地域人材の育成を通じて、持続可能な地域づくりを推進してまいります。

今後とも京都府土地改良事業団体連合会及び会員の皆様との連携を一層深め、現場の声を大切にしながら、安心・安全で活力ある農村づくりに全力で取り組んでまいり所存ですので、引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

京都府土地改良事業団体連合会第69回通常総会

令和8年3月8日(日)、京都府庁旧本館(京都市上京区)において、「京都府土地改良事業団体連合会第69回通常総会」を開催しました。

開会にあたり、田中英夫会長から本会の運営における会員皆様のご理解とご協力への謝意と提出議案の慎重審議をお願いする旨のあいさつの後、長年土地改良事業の推進について功績のあった方々への土地改良事業功労者表彰を行いました。

続いて、公務ご多忙のなか、ご臨席をいただいた鈴木一弥京都府副知事、藤河正英近畿農政局次長、兎本和久京都府議会副議長、本田太郎衆議院議員、西田昌司参議院議員、勝目康衆議院議員、吉井章参議院議員、繁本護衆議院議員、園崎弘道衆議院議員、藤田洋司衆議院議員からご祝辞をいただきました。

その後、西島寛道井手町長が議長に選任され議事に入り、提出された議案はすべて原案のとおり承認をされました。

役員の改選では、理事16名、監事3名が選任されました。

また、総会後の互選により、会長田中英夫氏、副会长近藤永太郎氏、副会长中小路健吾氏、代表監事中村俊孝氏が選任されました。



会場の様子



田中会長挨拶



西島議長(井手町長)



土地改良事業功労者表彰

【議事】

第1号議案

令和6年度事業報告の承認について

第2号議案

令和6年度

収入支出決算及び財産目録の承認について

第3号議案

令和7年度収入支出補正予算について

第4号議案

役員の改選について

第5号議案

令和8年度事業計画について

第6号議案

令和8年度収入支出予算について

第7号議案

令和8年度

賦課金の賦課基準並びに徴収について

第8号議案

令和8年度一時借入金について

第9号議案

令和8年度預金取扱銀行について

第10号議案

令和8年度役員報酬について

新役員の紹介（任期：令和8年4月1日～令和12年3月31日）

会 長	田中 英夫	学識経験者（京都府議会議員）
副会長	近藤 永太郎	京都支部（洛西土地改良区理事長・京都府議会議員）
	中小路 健吾	乙訓支部（長岡京市長）
常務理事	田村 匠	学識経験者（元京都府農林水産部技監）
理 事	井ノ口 勝也	宇治支部（巨椋池土地改良区理事長）
	杉浦 正省	相楽支部（精華町長）
	西村 良平	南丹支部（南丹市長）
	四方 源太郎	綾部支部（綾部市長）
	鴨田 秋津	舞鶴支部（舞鶴市長）
	中山 泰	丹後支部（京丹後市長）
	森本 明代	学識経験者（京都水土里ネット女性の会 会長）
代表監事	中村 俊孝	亀岡支部（亀岡市西部土地改良区理事長）
監 事	喜多 義治	綴喜支部（綴喜西部土地改良区理事長）
	梅田 和男	丹後支部（丹後土地改良区理事長）
	上村 崇	綴喜支部（京田辺市長）
	桂川 孝裕	亀岡支部（亀岡市長）
	畠中 源一	京丹波支部（京丹波町長）
	大橋 一夫	福知山支部（福知山市長）
	城崎 雅文	与謝支部（宮津市長）

※近藤 永太郎 副会長におかれましては、去る令和8年5月29日に、ご逝去されました。心より哀悼の意を表しますとともに謹んでお悔やみ申し上げます。
（敬称略 役職は令和8年3月現在）

土地改良事業功労者表彰

林 均	農事組合法人勸修寺樹園地組合代表理事
川勝 聡	京都市檜原土地改良区理事長
石崎 光二	瓶原土地改良区理事長
橋本 隆	十倉土地改良区理事長
藤田 憲一	宮津市産業経済部農林水産課主任専門員
故行待 実	（前）丹後土地改良区理事長
	（前）京都府土地改良事業団体連合会監事

（敬称略 役職は令和8年3月現在）



全国土地改良事業団体連合会第68回通常総会 及び 全国水土里ネット表彰式

全土連通常総会

令和8年3月25日(水)、全国都市会館(東京都千代田区)において、「全国土地改良事業団体連合会第68回通常総会」が開催されました。

二階俊博会長からは、「昨年4月に策定された新たな食料・農業・農村基本計画の実現に向け、初動5年間(令和7～11年度)の農業構造転換集中対策期間に別枠予算が確保されていくこととなった。それぞれの地域でしっかりと活用していただきたい。」とのあいさつがあり、令和8年度の事業計画、予算など11議案が原案通り承認されました。

なお、第10号議案「役員の補欠選任」では、宮崎雅夫元参議院議員が選任され、同時に副会長へ就任されました。

土地改良功労者等表彰

令和8年3月25日(水)東京都千代田区のシェーンバッハ・サボー(砂防会館別館)において、全国水土里ネット表彰式が開催され、第67回全国土地改良功労者等表彰が執り行われました。

表彰式には、全国から受賞土地改良区や多数の関係者が出席し、来賓として、鈴木農林水産副大臣、根本農林水産副大臣、山下農林水産副大臣及び広瀬農林水産大臣政務官をはじめ農林水産省幹部の方々や全国水土里ネット会長会議顧問の進藤参議院議員がご臨席されました。

京都府からは、全土連会長賞として、団体表彰2土地改良区、個人表彰4名が受賞されました。受賞者の皆様に対しまして、心よりお慶び申し上げますとともに、今後、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

〈京都府からの受賞者〉

(団体) 多賀土地改良区(井手町、奥田 保 理事長) 亀岡市西部土地改良区(亀岡市、中村 俊孝 理事長)

(個人) 故行待 実 丹後土地改良区 前理事長、京都府土地改良事業団体連合会 前監事

植野 久子 木津土地改良区 職員、京都府土地改良事業団体連合会 理事

小山 智文 綾部市農林商工部整備担当 担当長

國場 一郎 京都府土地改良事業団体連合会 前次長・ため池サポート課長事務取扱

(敬称略 役職名は令和8年3月現在)



鈴木農林水産大臣のご祝辞



京都府から出席の受賞者

京都府農業農村整備事業推進大会



会場の様子

第1部の大会式典では、市町村、土地改良区等をはじめ京都府内の農業農村整備事業関係者約350人の参加をいただき、主催者を代表して田中英夫会長から、会員皆様の日々の联合会運営においてのご理解とご協力への謝意と計画的な農業農村整備事業の推進に向けて引き続き全国の関係者と予算確保に取り組むなど、農業農村整備の推進、農業農村の振興・発展のため活動していく旨の挨拶がありました。

つづいて、「第23回水・土・里ふるさと写真コンクール」受賞者に表彰状（関連P.19）、長年本会の役員として、本会の運営にご尽力いただいた退任役員の山崎善也前副会長、（故）近藤永太郎前副会長、谷口雄一前理事、西村良平前理事、植野久子前理事、（故）行待前監事に感謝状を贈呈いたしました。

次に、ご来賓の皆様をご紹介します、代表して西脇隆俊京都府知事、志知雄一近畿農政局長、荒巻隆三京都府議会議長、府内選出の国会議員を代表して西田昌司参議院議員の4名からご祝辞をいただきました。

令和8年6月20日（土）、国立京都国際会館において「京都府農業農村整備事業推進大会」を開催しました。

冒頭、去る5月29日にご逝去されました近藤永太郎副会長のご冥福を祈り、黙とうをいたしました。



田中会長



感謝状の贈呈
（左から植野前理事、
田中会長、近藤副会長の奥様とご子息）



西脇京都府知事



志知近畿農政局長



荒巻京都府議会議長



西田参議院議員

主な活動報告

その後の基調講演では、ふじのくに地球環境史ミュージアム館長の佐藤洋一郎氏より「水・土・里・人がはぐくむ 京の食文化」と題して、ご講演をいただきました。

人々に絶え間なく供給し、命を支えてきた食料としての役割の「食」だけではなく、人々の生活に潤いをもたらすなど多様で豊かな「食文化」を形成してきた「食」についてご紹介いただき、食材の生産を担ってきた農業農村の役割、必要性、将来への歩みについて、あらためて考えさせていただく機会となりました。

また、全国水土里ネット会長会議顧問進藤金日子参議院議員から「国政報告」と題して、令和6年6月施行された改正食料・農業・農村基本法の基本理念に基づき、令和7年4月に閣議決定された食料農業農村基本計画のうち、平時からの食料安全保障を実現する観点から、初動5年間で、ほ場の大区画化やスマート農業の推進など農業構造の転換を集中的に押し進めていることや令和9年度からの新たな水田政策の基本的な方向など、最新の農政情報についてご講演をいただきました。



ふじのくに地球環境史ミュージアム
館長 佐藤洋一郎氏



全国水土里ネット会長会議顧問
進藤金日子参議院議員

式典の最後に、大会決議が事務局から提案され、拍手をもって採択されました。

第2部の交流会では、公務ご多忙の中、ご出席いただいた鈴木一弥京都府副知事からご挨拶をいただき、参加者一同終始なごやかに懇談と交流を図ることが出来ました。

本会では、推進大会において決議された以下の内容の実現に向けて関係機関に強く要望を行っていきます。

(決議6項目)

- 農業農村整備事業がスピード感を持って推進できるよう、別枠も含み、必要な予算総額をしっかりと確保し、その際には、会員の負担軽減のための一層の支援策を講じること。
 - 農地の整備や農業水利施設の保全強化や農業用ため池の防災減災対策を推進すること。
 - 中山間地域の特性に応じたきめ細やかな整備等施策を拡充し、一層推進すること。
 - 日本型直接支払制度について、適用範囲の拡大と必要な予算確保及び制度充実を図ること。
- また、水土里ネットと活動組織の連携強化を支援すること。
- 都市部における農業生産基盤の整備を農業振興地域と同様に推進すること。
 - 土地改良施設の保全等を図るため、維持管理を担う土地改良区の機能強化等への支援を充実すること。

令和8年6月20日

京都府農業農村整備事業推進大会

農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動

令和8年6月15日(月)東京都千代田区のシェーンバッハ・サボー(砂防会館別館)において、全土連主催「農業農村整備の集い」が盛大に開催されました。全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員をはじめとする多数の国会議員のご参加と、鈴木農林水産大臣など農林水産省幹部のご臨席のもと、農業構造転換集中対策期間での予算確保や中山間地域対策等々についての支援充実などの要請書を満場一致で採択しました。

大会終了後は、本会関係参加者で、京都府ゆかりの衆参の国会議員を訪ね、決議された要請書により要請活動を実施し、府内農村の現状などの意見交換を行いました。

- (1) 集いの参加者 全国関係者 約1,300名
(内、国会議員本人出席 95名)

- (2) 本会関係参加者 本 会 田村 常務理事
綴喜西部土地改良区 喜多 理事長
同 相馬 事務局長
木津川市 建設部 齋藤 参事
その他 京都府関係者等 3名

- (3) 本会の要請先 京都府関係国会議員 9名
全国水土里ネット会長会議顧問 進藤 金日子 参議
内、意見交換：吉井 章 参議、繁本 護 衆議、園崎 弘道 衆議 3名



会場の様子(演台は進藤 金日子 参議院議員)



鈴木農林水産大臣のご祝辞



吉井 章 参議院議員への要請活動



繁本 護 衆議院議員へ要請活動



園崎 弘道 衆議院議員へ要請活動

災害への「備え」として

近年、気候変動や異常気象が激しさを増しており、昨年度も記録的な渇水に悩まされる年となりました。いつ起こるかわからない災害に備え、あらゆる事態を想定した対策が必要不可欠ですが、人的・物的・技術的な限界があるのもまた現実です。

今回は情報提供として、大きな災害時などに活躍する農林水産省の取り組み「MAFF-SAT」と、近畿農政局が配備している「災害応急用ポンプの貸出し等」についてご紹介します。(以下、近畿農政局発行「びれっじきんき2026年7月号」より抜粋)

「MAFF-SAT」による支援内容について

MAFF-SAT(農林水産省・サポート・アドバイス・チーム)は、農地・農業用施設(ため池、頭首工、水路等)及び農村生活環境施設(農業集落排水施設、営農飲雑用水施設等)が被災した際に、農林水産省の職員を被災自治体へ派遣し、迅速な被害状況の把握や早期復旧に向けた支援を行う取組です。



災害応急用ポンプの貸出し等について

農地の湛水排除、被災ため池の緊急排水等の緊急時に対応するため、土地改良技術事務所が保有・管理している災害応急用ポンプの貸出し及び排水ポンプ車の派遣を行っています。必要な場合は、近畿農政局防災課まで御連絡ください。

<MAFF-SAT、災害応急用ポンプの貸出し等に関する問い合わせ先>

近畿農政局 農村振興部 防災課 075-414-9562(直通)

<参考>

近畿農政局の排水ポンプ車の派遣、災害応急用ポンプの貸出しについての詳しい情報は、下記ホームページに掲載していますので御覧ください。

URL: <https://www.maff.go.jp/kinki/seibi/sekei/kokuei/tochikai/tochikai9.html>



災害応急用ポンプホームページ

各課の取組

総務支援課の取組

1 会員支援事業の実施

本会の土地改良推進積立金を活用し、独自事業として小規模な事業実施を助成しているもので、令和7年度は、前年度から事業計画を策定し実施する通常支援と、予測し得ない事故等による緊急支援を合わせた44地区、事業費57,327千円に対して、交付額21,552千円の事業を実施しました。

会員の皆様には、事業制度をご理解いただき、本事業の有効活用をお願いします。

区 分	会員数	地区数	事業費（千円）	交付額（千円）
通常支援	17	29	40,965	15,371
緊急支援	12	15	16,362	6,181
合 計	25※	44	57,327	21,552

※重複を考慮した会員数

実施事例



ほ場整備の概略設計



揚水ポンプの更新



ため池フォローアップ点検

2 土地改良区の経営診断及び複式簿記に関する巡回指導等

令和7年度は、12土地改良区を対象に決算関係書類の分析による運営効率化対策や円滑な施設更新のための経営診断と、5土地改良区を対象に複式簿記に関する巡回指導、土地改良区役職員等40名の参加のもと会計研修会を実施しました。

令和8年度も、ひきつづき経営診断や巡回指導、会計研修を行う予定としています。

土地改良区会計に関する一般的な疑問、決算関係書類（貸借対照表を含む）の作成等会計事務について、役員交代等で困りの改良区については、基礎から説明しますので、ご希望があれば本会までお問合せください。



R7.12.8 会計研修会の様子

3 日本型直接支払の推進

日本型直接支払(多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金)の取組を一層推進するため、京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の事務局を担い、活動組織等の広域化支援、研修会の実施、優良表彰や子ども絵画コンクールなどの活動を行っています。(関連 P.16)

業務課の取組

1 調査・測量・設計等の支援

土地改良事業に係る採択申請資料や事業計画書等作成、土地改良事業に必要な調査・測量・設計業務などを受託します。



〈事例〉

～ 農業用水送水管の管内診断調査 ～
(令和7年11月 巨椋用水1号管路)

農業水利施設における、機能保全計画策定に必要な管路の劣化状況を確認。

2 換地の支援

土地改良換地士が、換地業務、関係法令等に関する各種支援をします。

ほ場整備事業における計画から換地処分までの換地等業務を受託します。

また、土地改良法関連の各種研修会や、地元換地委員等対象の事業説明等も実施しています。



〈事例〉

～ 換地計画書等説明会 ～
(令和7年6月 南丹市池ノ内)

ほ場整備工事完了後の、換地計画の樹立に向けた説明会。計画・個人明細書・清算を理解してもらう全体説明と、個別説明相談会も行い、朝から夜まで、権利者全員が納得できるよう、事業主体の依頼にもとづき指導支援。

3 土地改良施設の維持管理支援

土地改良施設を安心して利用いただくために、要望等により現地での施設診断実施や施設管理に関する助言指導を行います。



〈事例〉～ 頭首工（ファブリダム）の施設診断 ～

(令和8年3月 木津川市五領池ファブリダム) 起伏動作、袋体の状況確認

4 土地改良施設維持管理適正化事業による支援

土地改良施設維持管理適正化事業は、土地改良施設の機能保持のための「整備補修事業」や、施設の防災・減災、施設管理の省エネ化・省力化などのために行う「防災減災機能等強化事業」などのメニューがあり、本会では事業加入要望の受付や交付金の交付など一連の事務を実施しています。

(1) 整備補修事業（一般型）

土地改良施設の定期的整備補修

- 下限事業費が 200 万円 ● 補助率 60%
- 事業加入年度含む 5 年間のうち定められた年度に工事実施



水路の整備



樋門の整備

(2) 防災減災機能等強化事業

農村地域の防災・減災、施設管理の省エネルギー化、再生可能エネルギー利用及び省力化のための施設整備

- 下限事業費が 100 万円 ● 補助率 70% ● 事業加入年度に工事実施
- 国の財政融資資金を利用した事業であるため、利息が賦課されます



頭首工の整備（省力化）



陸上ポンプの整備（省エネルギー化）

5 土地改良相談の実施

「土地改良相談」を是非ご利用ください！

‘毎月第3水曜日を定期相談日’として土地改良に関する各種相談を受けつけています。必要に応じて、本会の顧問弁護士への相談も行います。（定期相談日だけでなく相談があれば‘随時’相談に応じますのでお気軽にご相談ください。）

～相談内容の事例～

- 土地改良事業に関する苦情、紛争に関する事
- 土地改良事業計画の作成、工事実施に関する事
- 事業主体の組織運営に関する事
- 土地改良施設の管理に関する事
- 複式簿記会計に関する事
- 指導監査の導入に関する事
- 農業水利に関する事
- 土地改良法に関する事
- 換地処分に関する事
- その他

ため池サポート課の取組

1 調査設計業務等支援

近年、豪雨による農業用ため池の決壊や地震により堤防に亀裂が発生するなど、被害が甚大になる中で、国においても関係法令の整備が進められるとともに、防災減災対策に係る意識が高まっています。このため、ため池に係る以下の業務を中心に支援します。

(1) 調査・測量・設計業務

ため池の改修事業に必要な採択申請資料及び事業計画書の作成、工事費用の算出も含めた実施設計書の作成を支援します。

(2) 防災減災対策

●フォローアップ点検 ●安心安全マップ作成 ●劣化状況評価



管理アプリによるため池点検



安心安全マップ例
(緊急時編・維持管理編) イメージ

2 京都府ため池サポートセンターの取組

従来の協議会（※1）に代わり、令和7年9月から、京都府が「京都府ため池サポートセンター」（以下「サポートセンター」）を設置し、本会がその業務を受託しています。

サポートセンターでは、農業用ため池の決壊による水害その他の災害を防止するため、農業用ため池の適正な管理、保全が図られるよう、防災重点農業用ため池に係る相談対応、現地調査、研修普及啓発活動等について、各地域に配置の地域指導員とともにため池管理者を支援します。

※1：京都府農業用ため池管理保全サポート協議会



相談対応・現地調査指導



研修会開催

地域別会議

令和8年4月20日(月)から24日(金)にかけて、府内5ブロック(京都乙訓、山城、南丹、中丹、丹後)において土地改良区や市町村等の役職員及び府職員延べ132名の出席のもと地域別会議を開催しました。会議では、本年度の本会組織や事務分担などの事務局体制、各課の取り組み、土地改良施設の損害賠償責任保険について説明を行い、京都府から管内の農業農村整備事業の実施状況等情報提供がありました。

多くの会員の皆様に出席をいただき、ありがとうございました。



京都・乙訓ブロック
(京都四条烏丸京都経済センター)



山城ブロック
(京都府立山城勤労者福祉会館)



南丹ブロック
(京都府立口丹波勤労者福祉会館)



中丹ブロック
(綾部市ものづくり交流館)



丹後ブロック
(丹後土地改良区)

令和8年度第1回支部事務担当者会議

令和8年4月14日(火) 京都府自治会館ホール(京都市上京区)において、令和8年度第1回支部事務担当者会議を開催しました。

田村常務理事による開会挨拶に続いて、本年度の本会事務局体制や賦課金に関する事務手続き、会員支援事業、水土里相談等の令和8年度に取り組む事業、関連行事について説明を行いました。

本年度も支部の担当者のご協力をいただきながら事業及び行事を実施しますので、会員の皆様のご理解ご協力をお願いします。



会議の様子

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組

1 取組の目的

農業の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源及び農村環境の保全活動並びに農業用排水路等の施設の長寿命化のための活動の推進、中山間地域等における地域の営農体制の強化による農業生産活動の継続、生物多様性保全などに効果の高い環境にやさしい農業生産技術の普及拡大等に資することを目的として活動しています。

2 主な取組

(1) 事業の普及、推進のための取組

優良組織の表彰や子ども絵画コンクールを実施するとともに、府民へのPRとして展示会等を開催しています。優良表彰では、先進的な活動を実施している日本型直接支払制度に取組む団体を表彰しています。

また、子ども絵画コンクールでは、京都府内の農業や農村に関する風景・活動をテーマに絵画作品を募集しています。詳しくは、本協議会のホームページよりご覧ください。



優良表彰募集チラシ



絵画コンクール募集チラシ

(2) 近畿農政局への要望と意見交換

令和8年2月9日(月)、近畿農政局に対して、日本型直接支払制度について予算確保や交付単価アップなどを要望するとともに、府内の日本型直接支払の取り組みの状況を伝え、意見交換を行いました。

- ①要望・意見交換先 近畿農政局農村振興部平山周作部長はじめ関係課長等 6 名他
- ②要請者(当協議会) 京都府農林水産部今中農村振興課長、瀬戸谷農産課長、JA 中央会森川農業対策部長、京都府農業会議古谷副局長、京都土連青山事務局長他



平山農村振興部長に要請書手交



意見交換の様子

(3) ホームページのリニューアル

令和7年度にホームページをリニューアルし、活動組織の取組事例や各種情報をより分かりやすく発信できるよう内容の充実を図りました。ぜひご覧ください。



京都府農地・水・環境保全向上対策協議会ホームページ



協議会
ホームページの
QRコード

多様な人材の登用と男女共同参画

1 多様な人材の登用（法改正）

人口減少において、土地改良区の組合員の減少や高齢化が課題となる中、様々な地域ニーズに対応し、土地改良区の運営を適切に継続していくことができるよう、土地改良法において土地改良区の理事の構成について年齢及び性別に関する配慮規定が設けられました。（令和7年4月改正）

改正土地改良法（第18条第6項）（令和7年4月改正）

土地改良区はその理事の年齢及び性別に著しい隔たりが生じないように配慮しなければならない。

*理事の構成を直ちに直すよう強制するものではなく、地域の実情に応じて、土地改良区において着実に取り組んでもらうためのバックボーンとしていただくもの

2 男女共同参画（土地改良区における女性理事登用）

本会では、土地改良区の実情に応じた、女性が活躍する環境づくりを行うことで、女性ならではの視点や行動による土地改良区の活性化、運営強化などが図れることを期待し、男女共同参画（女性活躍推進）の取組を進めています。

なお、新たな土地改良長期計画における女性理事割合の目標値は、令和11年度末までに10%です。

● 府内会員土地改良区の女性理事の登用状況

京都府内の女性理事割合は、**4.5%（令和8年4月1日現在、全土連調べ）**です。

地域	会員土地改良区数 (連合含む)	女性理事登用 土地改良区数	理事総数 (人)	女性理事 (人)	女性理事割合	備 考
府内 計	65	23	624	28	4.5%	
<内訳>						
京都・乙訓	15	4	134	3	2.2%	
山城	17	5	168	7	4.2%	
南丹	23	11	230	15	6.5%	
中丹	8	2	71	2	2.8%	
丹後	2	1	21	1	4.8%	

(参考) 全国平均 4.0%(近畿 3.8%)

<府内会員土地改良区の女性理事登用の推移>

調査時点	女性理事登用 土地改良区数	女性理事数	女性理事割合	(参考)全土連調査 全国同左割合
令和4年4月	2	2人	—	—
令和5年4月	9	10人	0.3%	0.8%
令和6年4月	11	13人	1.4%	1.5%
令和7年4月	16	19人	3.0%	2.7%
令和8年4月	23	28人	4.5%	4.0%

水土里レポーターの活動について

全国土地改良事業団体連合会では、農業・農村に関する情報を全国各地から発信してもらう“水土里レポーター”を募集しています。京都府においては、女性の視点から見たこれらの魅力や情報を、以下のお二人から発信していただいています。皆様にも府内各地の情報発信や広報活動にご参加いただけたら幸いです。

(お問合せは、本会 田中まで)



全土連HP：水土里レポーター
記事紹介ページは、こちら▲

○丹後土地改良区 東 美奈子 主事



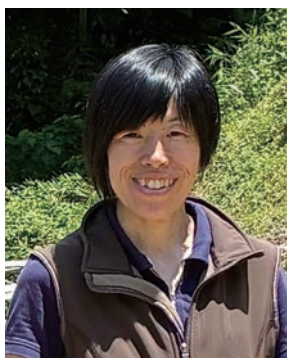
丹後土地改良区
あずま みなこ
東 美奈子 主事

昨年度、私も参加した「丹後国営大クリーン作戦」の報告をさせていただきました。報告したのは1地区のみでしたが、どの地域でも住民の皆さんの協力によって農地や道路、かんがい施設が守られていることを実感しました。

私は普段、事務所内での業務が中心ですが、現場に出ると、日頃の管理がどれほど重要かを改めて感じます。こうした地道な活動が、地域の営農と暮らしを支えているのだと気づかされます。

人口減少や高齢化により、地域活動の継続が難しくなる中でも、地域の皆さんが協力して農地や施設を守り続けておられる姿に励まされました。今回のレポートが、こうした取組の大切さを知っていただく一助となれば幸いです。

○瓶原土地改良区 髭 愛 理事



瓶原土地改良区
ひげ めぐみ
髭 愛 理事

瓶原土地改良区は、約800年前の鎌倉時代に作られた「大井手用水」が、今も現役で利用されています。この用水は、電気等の動力を使わず、水路の高低差だけで水が流れる仕組みです。

昨年度、初めて土地改良区理事となり、多くの方々がこの用水路を守り維持していることに驚くとともに、その長い歴史の中で、関わってきた人々やその営みのことを思わずにはいられませんでした。何気なく見てきた田園風景は、はるか昔から、そして今も人の手で守られ続けていることを実感しました。

水土里レポーターとして、大井手用水とそれに関わる土地改良区の皆様の姿を見ることで、また一つ世界が深くそして広がりました。この経験を伝えることで、皆様の心に少しでも何かが残るなら、これほど嬉しいことはありません。

第23回水・土・里ふるさと写真コンクール入賞作品

「水・土・里」に象徴される、次世代に引き継いでいきたい身近なふるさとを再認識していただくために、本会独自の取り組みとして、水・土・里ふるさと写真コンクールを実施しています。昨年度の第23回では、158点の応募があり、4月10日（金）の審査委員会を経て、金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、佳作6点、特別賞1点を決定し、6月20日（土）開催の令和8年度京都府農業農村整備事業推進大会において表彰式を行いました。

本年度も引き続き第24回水・土・里ふるさと写真コンクールの実施・募集を行っておりますので、積極的なご応募をお願いします。



金賞 「家族総出」 野々垣 泰輝

撮影場所 綾部市睦寄町



銀賞 「茶源郷雪景色」
富永 良明

撮影場所 相楽郡和束町石寺



銀賞 「枝豆採たよー」
廣瀬 誠

撮影場所 船井郡京丹波町坂原



銅賞 「楽しい稲刈りにGO!」
石本 さと子

撮影場所 相楽郡精華町祝園



銅賞 「水鏡」
岩見 修一

撮影場所 綾部市睦寄町



銅賞 「田んぼの一步」
正岡 希美

撮影場所 船井郡京丹波町広野



特別賞 「晩秋の新庄堰」
佐野 敏之

撮影場所 南丹市園部町越方

審査委員長 講評

不安定な国際情勢によって、エネルギーと同様に食糧の安全確保の問題は、世間の高い注目を集めています。そんな中、京都府内各地でのどかな農村や作業風景を写した作品は、地域農業の大切さや尊さをあらためて実感させてくれました。

金賞には、野々垣泰輝さんの「家族総出」が輝きました。大型連休中に3世代ほどの家族が集まり、田植えにいそしんでいるシーンです。心が和む田園風景の中、ご家族ならではの連係で手際よく作業する様子は、まるで連続写真を見るような面白さがあります。

銀賞の一つ目には、富永良明さんの「茶源郷雪景色」を選びました。府南部で雪が積もることは珍しく、多くは午前中には解けてしまいます。富永さんは、府景観資産第1号に指定される「和束町の茶畑」が雪化粧した場面を逃しませんでした。急斜面に緑が広がる

石寺地区の茶畑が真っ白に一変した様子は圧巻です。天気の子測と行動力のたまものといえる力作です。

銀賞二つ目は、廣瀬誠さんの「枝豆採たよー」です。収穫祭での一コマで、鈴なりの枝豆を手にポーズを取る2人のお子さんにフォーカスしました。日常の一瞬を写すスナップ写真は、反射的にシャッターを切る判断が必要です。田畑が減り土や作物に触れる機会が少なくなる中、参加者にとって貴重な体験でしょう。ご家族で過ごす楽しいひとときと収穫の喜びが凝縮された秀作です。

ビントや露出、画質などの写真の基本技術が向上し、時間帯や季節感に工夫を凝らした応募作品が増え、年々レベルが高くなっています。「農業や自然とのふれあいを大切にし、次世代に引き継いでいく」というテーマのもとに、作品の物語性や意外性を意識すると、撮影がより楽しくなるかもしれません。

（京都新聞社写真部長 坂本 佳文）

土地改良区等紹介

あみ の ちょう あざ たわらの

網野町字俵野土地改良区

区 域 : 京丹後市網野町俵野、木津及び浜詰の
日本海側に面した砂丘区域
地 区 面 積 : 25 ha
組 合 員 数 : 49人 理事7人 監事3人
設 立 : 昭和31年3月24日
沿 革 : 昭和30年に団体営農畑地灌漑事業のため設立
水 源 池 : 勝田池・俵野川

かん水施設 : 陸上ポンプ 勝田池 2台 口径150mm
出力 22kw (令和7年度更新)
水中ポンプ 勝田池 1台 口径100mm
出力 11kw (平成26年度更新)
俵野川 1台 口径 50mm
出力 11kw (令和4年度更新)
送水管 φ300mm 配水管 φ300mm～φ75mm 配水池 1箇所



海岸付近の砂丘地が土地改良区のエリア



勝田池の取水施設



勝田池のポンプ

地 域 の 特 徴 : 砂丘地での水はけの良さと作物の仕上がりの美しさを生かした営農が行われている。
栽 培 作 物 : 露地では、ブドウ、サツマイモ、里芋、メロン、スイカ、大根等が栽培されており、
ビニールハウスでは、琴引メロン、トマト、ユリが栽培されている。比較的若い就農者も多い。



京丹後のブランド品「琴引メロン」



サツマイモ・ブドウ

理事長のコメント

「当改良区では、スムーズな世代交代を図るため、若手組合員や次世代後継者の育成と幹部の意識向上のため、役員等研修会を実施しています。

7年度は、京土連にお世話になり、『土地改良事業について』、『土地改良区組織と役員の役割について』等の講義を受けた後、意見交換を行いました。

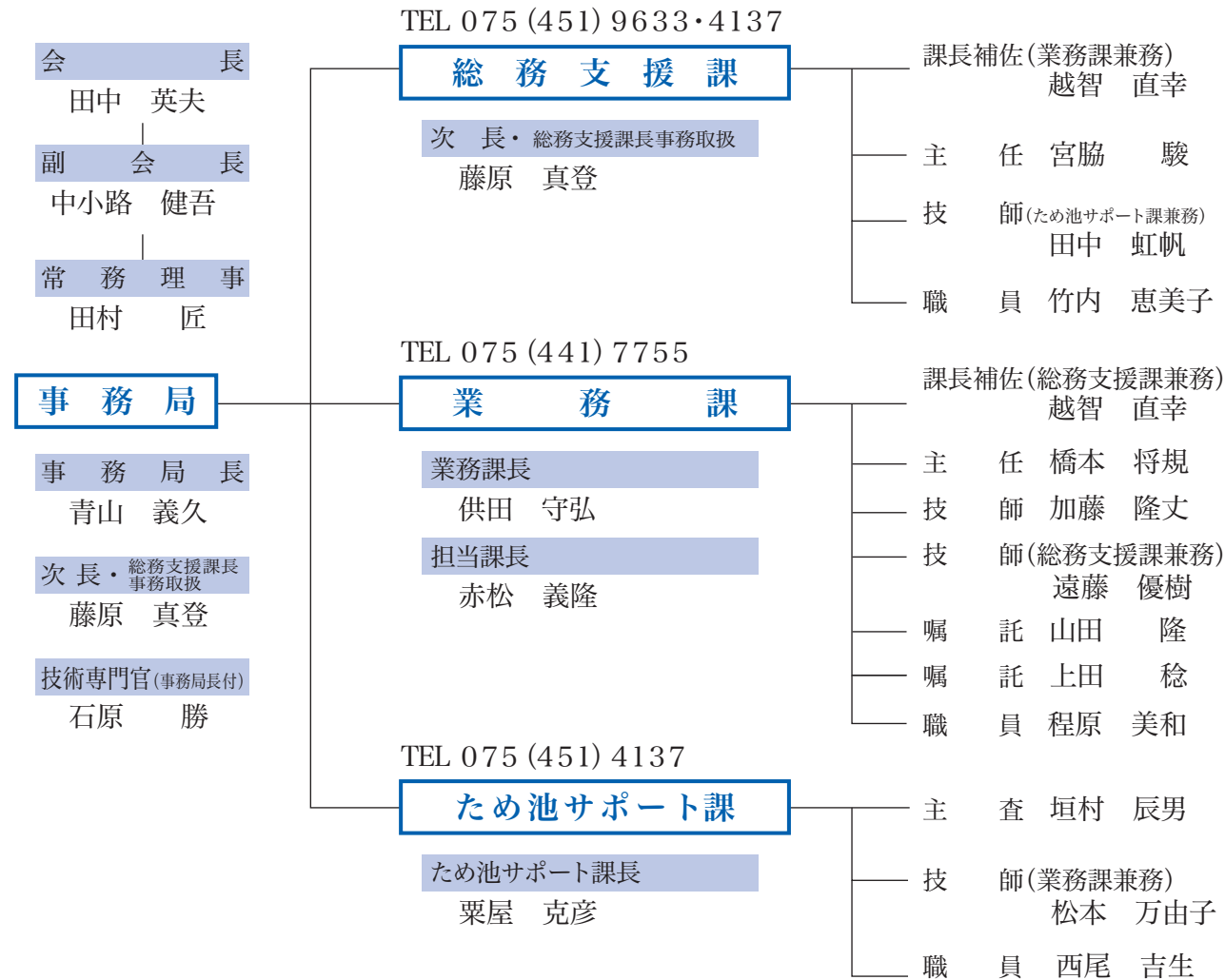
将来を見据えた課題とその解決についての気づきもあり、今後に活かせる良い機会でした。」



令和8年度 京都府土地改良事業団体連合会 組織機構図

(令和8年7月1日現在)

TEL 075(451)9633 FAX 075(414)2777 URL : <https://www.midorinet-kyoto.jp>



担 当 者 一 覧 表

	補助事業等	担当者			会員支援等	正	副	受託業務	
								調査・設計／換地／その他	供田 赤松 越智 橋本 加藤 遠藤 山田 上田 垣村 松本 田中 石原 西尾
①	土地改良区機能強化支援事業 (受益農地管理強化)	越智	遠藤	(1)	会員支援事業	石原	藤原		
②	土地改良区機能強化支援事業 (施設診断・相談)	加藤	橋本	(2)	土地改良運営強化推進事業 (水土里相談)	栗屋	石原		
③	換地処分等促進対策事業	赤松	遠藤	(3)	京都水土里情報	遠藤	越智		
④	土地改良施設維持管理 適正化事業	加藤	橋本	(4)	工事費積算システム	松本	橋本		
				(5)	複式簿記に関する支援	越智	宮脇		
				(6)	農地・水・環境保全向上対策協議会	田中	藤原		
				(7)	ため池サポートセンター	垣村	松本		
				(8)	京都水土里ネット女性の会	松本	田中		

第48回 全国土地改良大会 奈良大会について

大会テーマ

「きれいな水」「豊かな土地」「美しいふる里」
水土里が育てる まほろばの奈良

開催日

式典：11月17日(火)
事業視察：11月18日(水)

開催場所

奈良県コンベンションセンター
(奈良県奈良市)



叙勲受章者の紹介

令和8年春の叙勲において、
土地改良関係者が叙勲を受章されましたのでご紹介いたします。



旭日中綬章(地方自治功労)
奥田 敏晴氏
(元)城陽市長



旭日中綬章(地方自治功労)
河井 規子氏
(元)木津川市長
(元)京都府土地改良事業団体連合会理事



瑞宝双光章(地方自治功労)
久田 吉治氏
(元)京都府農林水産部技監
(元)京都府土地改良事業団体連合会常務理事

令和8年度 新規採用職員の紹介



栗屋 克彦

令和8年5月1日付で、京都府土地改良事業団体連合会ため池サポート課長を拝命いたしました栗屋（あわや）と申します。4月末に京都府を退職するまで、皆様には大変お世話になり、心より御礼申し上げます。

私は近年、水産部局において農業農村整備から10年ほど離れておりましたが、その間にも過疎化・高齢化により管理の知識や技術の継承が難しくなるなど、ため池を巡る課題は一層深刻化しています。こうした状況の中、会員の皆様とともに地域の水利施設の保全体制の確立や、ニーズに応じた基盤整備の推進に寄与してまいりたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今後の行事予定

令和8年度 水土里相談 巡回相談 日程表			
支部名	開催日		会 場
亀 岡	7月24日（金）	午後	亀岡市役所 8階 800会議室
京 都	7月29日（水）	午後	京都市役所産業観光局 地下1階会議室
乙 訓	8月4日（火）	午後	長岡京市役所 会議室501号
福知山	8月5日（水）	午前	福知山市役所 会議室
丹 後		午後	京丹後市役所（峰山庁舎2号館 221会議室）
綾 部	8月7日（金）	午前	綾部市役所まちづくりセンター 1階第2会議室
与 謝		午後	宮津市役所別館3階 第5会議室
南 丹	8月21日（金）	午前	南丹市役所（本庁）3号庁舎 2階第4会議室
京丹波		午後	京丹波町役場（本庁） 1階 小会議室
舞 鶴	8月24日（月）	午後	舞鶴市役所 別館6階 612会議室
相 楽	8月27日（木）	午前	精華町役場 2階交流ホール
綴 喜		午後	京田辺市役所 3階305会議室
宇 治	8月28日（金）	午前	巨椋池土地改良区 2階会議室

研 修 予 定

名 称	日 時	主な内容	場 所
換地事務新規担当者研修会	令和8年 8月4日(火)・5日(水)	・新規に換地事務を担当する市町村、改良区等の技術者対象の研修	サンガスタジアム by KYOCERA (亀岡市)
省エネルギー化技術実践向上研修	令和8年 9月～10月(予定)	・省エネに関する情報提供 ・土地改良施設における省エネ技術の紹介	未定
土地改良区運営基盤強化推進研修	令和8年 10月～11月(予定)	・土地改良区の現状と課題について ・経営収支の健全化に資する取組について	未定 (京都市内予定)
技術実践向上研修	令和8年 9月～10月(予定)	・水利施設の点検・診断・補修について ・適正化事業について	未定 (京都市内予定)
土地改良区役職員等研修会	令和8年 11月～12月(予定)	未定	未定
換地計画実務研修会	令和9年 1月～2月(予定)	・換地事務に従事する換地技術者対象の研修	未定

非補助農業基盤整備資金

非補助農業基盤整備資金は土地改良区等が国からの補助を受けず、ほ場整備や土地改良施設の整備事業に取り組む際に、日本政策金融公庫等が土地改良区等に対し長期・低利で融資する資金です。

なお、府や市町村が単独で行う補助事業も、融資の対象となります。

■対象となる事業種類

かんがい事業、排水設備整備、ほ場整備、客土、農道、索道、農地造成、防災、農業集落排水(宅内の整備含む)、事務所、事務機器、車両、調査費など。

■融資条件

ご利用いただける方：土地改良区、土地改良区連合等
償 還 期 限：最長25年(据置期間10年以内)
融 資 限 度 額：地元負担金(最低限度額50万円)
金 利：3.1%(令和8年6月18日現在)

融資のご相談・お問い合わせ

農協、信連、各市町村役場、府広域振興局、
京都府土地改良事業団体連合会、
日本政策金融公庫京都支店
農林水産事業融資課 (075-211-2147)

～未来につなぎたい京都の農業農村～



第24回 水・土・里 ふるさと

写真コンクール



〈応募期間〉

令和9年3月19日(金)まで

どなたでも応募OK!
スマホの写真もOK!

作品募集

「水・土・里」をテーマとした、地域の自然環境や景観、農業や農業用施設との関わり、人とのつながりを写した写真を募集します。



これまでの
受賞作品を
Check!

お問い合わせ

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2
京都府庁西別館 京都府土地改良事業団体連合会

● TEL (075) 451-4137 ● E-mail info@midorinet-kyoto.jp ● <https://www.midorinet-kyoto.jp>

※詳細は上記ホームページ記載の応募要項をご覧ください